

令和2年(2020年)8月27日提出

子どもたちの心のケアについて

～熊本地震・新型コロナウイルス感染症に伴うカウンセリングが必要な
児童生徒数の報告(令和2年度第1回学校調査結果より)～

1 方法

「心と体の振り返りシート」等を使ったアンケート結果や日常の子どもの健康観察などを通し、学校においてカウンセリングが必要と判断した児童生徒の数を集計するとともに、熊本地震についてはその児童生徒一人一人の状況を個人票にしてまとめたもの。

2 調査期間 令和2年(2020年)6月30日(火)～7月28日(火)

3 対象者 市立小中学校の全児童生徒 59,748人

4 調査の結果

(1) 熊本地震

カウンセリングが必要と判断した児童生徒数 249人(全体の約0.4%)

その内、新たにカウンセリングが必要と判断した児童生徒数 88人

	平成28年度						平成29年度		
	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	1回目	2回目	3回目
実施日	5/13	6/3	7/7	9/21	12/1	2/23	6/15	11/9	2/22
必要数(人)	2,143	1,834	1,159	828	602	465	834	961	953
新規(人)		1,215	563	396	233	236	519	542	434

	平成30年度			令和元年度			令和2年度
	1回目	2回目	3回目	1回目	2回目	3回目	1回目
実施日	6/20	11/15	2/25	6/14	10/31	1/31	7/28
必要数(人)	799	837	874	860	446	425	249
新規(人)	440	343	316	503	208	154	88

(2) 新型コロナウイルス感染症

カウンセリングが必要と判断した児童生徒数 557人(全体の約0.9%)

	令和2年度
	1回目
実施日	7/28
必要数(人)	557
新規(人)	